



碧南ロータリークラブ週報

第2757回例会 平成27年11月25日

- 会長 山中 寛紀
- 幹事 新美 雅浩
- 会場監督(SAA) 杉浦 栄次

2015-2016 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



世界へのプレゼントになろう

- 会報委員 藤関孝典・杉浦秀延・八馬宜久

● 斉 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

● 本日のお弁当

衣浦グランドホテル

● 本日のお客様

刈谷RC IM実行委員長 鈴木 豊様
刈谷RC IM副実行委員長 鈴木文三郎様



鈴木 豊様

副 会 長 挨拶

本日は山中会長さんのご都合が悪いということで私がお挨拶をさせていただきます。よろしくお願い致します。

先程、鈴木様から IM のお願いがございましたが、碧南 RC のクラブ協議会におきまして全員登録が決定致しました。あとは当日に 1 人でも多くの会員の方がご出席頂きまして、我々のスポンサークラブを盛り上げたいと思っております。よろしくお願い致します。

以前に刈谷 RC の会長をされていた岡本巧さんという方がお見えなのですが、その方のお父様が県会議員をしてみえまして、自由民主党の愛知県支部の幹事長も長く務められた方です。ひよんなことで長くお付き合いさせて頂きまして、思えば今から 33 年ほど前になる訳でございますが公益財団法人オイスカというのがございまして、岡本先生が団長でフィリピンのサンタクルスに行きました。日本航空で小牧を飛び立ちまして着くのが 1 時間ほど遅れた訳でございますが、初めての海外旅行で私は背広を着て名古屋空港に行きましたら、皆さんラフな格好だったという思い出がございます。10月30日～11月3日の旅でしたが、話せば思い出がいっぱいで平屋のブロック張りの壁の上にヤモリが張り付いていましたし、土間はコンクリートで木の簡単なベッドで寝たのを覚えております。



竹中 誠副会長

28歳の時に会員のなったと思うのですが、これで40年間オイスカの会員で推進協議会の幹事長や愛知県支部の役員も務めさせて頂いております。会員の皆さんの中には特別な大きな会員はトヨタ自動車さんや中部電力さんやUFJさんに入会して頂いております。当クラブも個人や法人で入会して頂いている方がたくさんいらっしゃいます。

公益財団法人オイスカでございますが、本当に会員を集めるのが下手で泥臭い会なのですが、各国の首脳または国内では天皇陛下、皇后陛下、総理大臣もご出席頂く大きな式典がある時もございます。宣伝の下手なオイスカを会員の皆さんに1人でも多く入って頂けるとありがたいと思います。

IMがうまくいきますことをご祈念致しまして私の挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。

幹事報告

幹事報告させて頂きます。

- ・ 例会変更のお知らせ等は幹事報告書の通りでございますので、お目をお通し頂きたいと思います。
- ・ 来週の例会から待望の新入会員が3名入会して参ります。3名入会したことによりまして当クラブは3年ぶりの70名の大台に乗るということで今年度の目標に到達しますが、何とかこの70名を今年度中は維持をしつつ皆さんの更なるご協力を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



新美雅浩幹事

委員会報告

<出席奨励委員会>

総会員数 67名 (内出席免除者 17名の内出席者 13名)出席者 55名	
出席対象者 55/63名	出席率 87.30%
欠席者 12名(病欠者 1名)	前々回修正出席率 100%

※六週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

刈谷RC I.M実行委員長 鈴木豊様、I.M副実行委員長 鈴木文三郎様

本日はI.MのPRにまいりました。よろしくお願い致します。

山中 寛紀君

本日はI.M実行委員長並びに、副実行委員長の両鈴木様にはわざわざお越し頂き、有難うございます。どうしても抜けられぬ用にて本日例会欠席となり、失礼をお許し下さい。今年も変わらぬ全員登録で、I.M当日盛会になることを心よりご祈念申し上げます。

11月23日のガバナー補佐杯では思わぬ飛び賞を頂きました。参加して下さったゴルフ部会はじめ会員の皆様、大変ご苦勞様でした。尚、各RC

に1つ頂いた記念品、皆様に帰ってから分けようと思っていたら、開けてびっくり。とても分けられる品ではなかったの、すみません会長の特権で今回は私の腹の中にしまわせて頂きました。

竹中 誠君

本日は、山中会長さんの代理にもなれませんが、務めさせていただきます。

長田 豊治君

刈谷RC鈴木豊様、鈴木文三郎様のご来訪を歓迎申し上げます。

伊藤 正幸君

H2Aロケット打ち上げ成功。力強いジェット推進が頼もしかったです。

平岩 辰之君

11月のRCゴルフ例会とJCじゃがいも例会でネット66で優勝する事が出来ました。ありがとうございました。3クラブでは、Wペリア方式でしたので、ハンディー13で、ネット75で11位でした。これからも精進します。

清澤 聡之君

無事に報恩講がつとまりました。1年間の感謝と反省です。ありがとうございました。

西脇 博正君

椎間板ヘルニアの手術で4週間お休みをいただきました。五体満足に感謝する日々です。

岡本 耕也君

久々のゴルフネタですが、11月23日のガバナー補佐杯ゴルフ大会で優勝は逃しましたが、運よく準優勝しました！

渡部 哲也君

本日「私の履歴書」をお話させていただきます。つまらない話ですが、ご容赦下さい。

山本 年朗君

本日「私の履歴書」を皆様にお聞き頂き有難うございます。大変つまらない話になりますが、ご容赦下さい。

卓 話

「私の履歴書」

会員 渡部哲也君



渡部哲也君

今年3月に「剣道武士道兵の道」という題で卓話をさせていただきましたが、「私の履歴書」は必ずやることとお達しなのでしばしお時間をいただきます。

昭和39年生まれの51歳。名古屋出身、名古屋育ち。京都に4年、三重県尾鷲市に6年、アメリカニューヨーク州に9か月、それ以外は名古屋。名古屋以外の町から大きな影響を受けています。今回碧南にご縁ができたことはこれからの人生で大変意味のあることになると思っています。

趣味は剣道とジャズ。剣道は小学校1年から、ジャズは39歳からサックスを習っています。家族は妻一人子ども三人。夫婦と子どもたち三人全ての名前の漢字の画数が一緒。たまたま夫婦が同じだったので子供たちも揃えました。すると、どうなったか。娘は母と、息子たちは父と同じ学校に通うことになった。長女は大学院2年、息子は大学の3年と1年。今では3人とも下宿中で家には夫婦と犬一匹。

自由な学風にあこがれて京都へ行きましたが、やはり自由な学校でした。運動か音楽かどちらかを一生懸命やろうと思い、迷ったが結局は運動を選択しました。子供の頃からやっていた剣道ではなく体育会合気道部に入りました。剣道では喧嘩に通用しないとか、違うことをやってみたかったとかそんな理由です。

さらに、体育会の本部役員もやりました。47種目の運動部が集まって体育会という組織を作っています。各部持ち回りで役員を出し、合気道部は私の代がその年でした。運動部と一口で言っても、アメフト、ラグビーや剣道、合気道などの武道系、ボートやヨットなど性格はバラバラです。それらをまとめようと思うと、詰まる所、人の絆しかなく、それを作るために酒飲んで騒いで遊んでました。学業とは無縁な日々でした。

そうはいつても就職の時期はやってきます。宴会の翌朝、空の酒ビンがゴロゴロ。中身は消えてなくなった。どこへ消えたのか。バカ騒ぎのエネルギー源。エネルギーってそういうものだよなとふと思ったことは覚えています。最終的に決め手になったのはチェルノブイリ。マスコミでも大きく取り上げられました。いろいろな情報に接すると、原子力にも火力にもどのエネルギーにも課題があることがわかってきました。しかし、なくてはならないものでもあり、そういう業界で働いてみようと思って選びました。

会社に入ると、最初は、三重県の尾鷲市の石油火力に勤務。京都の都会暮らしから人口2万人の紀伊半島の小さな町へ。いろいろ影響を受けました。コンビニやマクドナルドなどはなく、当然、合気道の道場もありませんでした。これが剣道を再開するきっかけになり、その後、親子共々剣道を続けています。

また、エレキギターを買ってバンド活動を始めました。高校時代は学園祭でもギターを弾いたりしていたのですが、大学時代は封印していました。尾鷲ではバンドも少ないので結構出番がありました。ところが、名古屋に転勤したら、レベルが違いすぎ全く通用せず出番もなく挫折しました。悶々とした思いはくすぶっていたのですが、10年くらいして思わぬボーナスが会社から入ったことを契機に音楽熱が再燃し、一念発起サクソに挑戦することにしました。妻にサクソを買う旨を告げたところ、買うならプロについて習うことを条件づけられました。そして、今の師匠のCUG ジャズオーケストラのリーダーである小濱さんとの出会い、ジャズの魅力に引きずり込まれました。以来、細々とではありますが今まで続けています。

名古屋に来てからの特記としては、名古屋市立大学の大学院に通いました。アメリカに研修に行った際に「地球上に有限な資源を人類の無限の欲求に対してどう分配するかというエネルギー会社の課題は、資源を財と置き換えれば経済学と同じだ。」と言われたことがきっかけです。さらに、学生時代、真剣に勉強していなかったので学問に対する思いもありました。結果として、苦勞して修士論文を書き上げて、自分には学究の世界は向いていないと実感しました。

その後、火力発電に関わる仕事をほぼ一筋で現在に至ります。途中、当社にとっては新規事業であったガス事業の立ち上げを担当していたこともあります。新規事業なので、営業でもなんでもやったのはいい経験でした。

今回、この卓話の機会を与えていただいて我が身を振り返るといろいろなご縁をいただいて今の私があるとあらためて痛感しました。碧南でも本当にたくさんのご縁をいただいて本当にありがたいことだと思っています。このご縁はこれからも大切に育んでいきたいと思えます。ご清聴ありがとうございます。

会員 山本年朗君

皆さん、こんにちは。山本でございます。渡部さんの後で大変やりにくいですが、つまらない話をさせていただきます。

銀行員の私の履歴書ですと、一昔前に流行りました「半沢直樹」とかああいう話をご想像される方がいらっしゃるんですけども、初めにお断りしておきますがあんな話はありませんので大変つまらない話になりますけども、その点をご容赦ください。

私は昭和 44 年の 1 月 11 日に福井県の丹生郡越前町というところで生まれました。兄弟は妹が 1 人と弟が 1 人います。父親は漁師をしております、碧南市の大浜の漁師町に似たようなところで育ちました。ものすごく田舎で小学校の全校生徒が 100 人ぐらいで中学校は町に 1 つで全校生徒が 300 人ぐらいでした。小学校の頃はクラブが無かったので、地区でソフトボールや野球をやっていました。中学校の頃は卓球部でした。中学校卒業後は武生高校というところに行きましたけども、家からバスで 1 時間ほど掛かり面倒だったので近くの下宿屋さんに 3 年間下宿しました。高校を卒業しまして大学に入る訳ですけども、本当は東京の大学に行きたかったのですが受験に失敗しまして浪人する余裕が無く大阪の大学に行きまして、そこでも 4 年間大学の近くに下宿しました。保育園から大学までずっと徒歩通学をしておりまして、銀行に入学して最初に通勤する時はものすごく苦痛でした。

平成 3 年の 4 月に三菱銀行に入学しました。選んだきっかけは大手銀行の中では一番楽そうだなと思って入学しましたが、入学してみるとそんなこともなかったなと感じました。

最初に配属されたのが大阪の天満支店で、大阪で当時 1 番、2 番に忙しいと言われる店でした。

天満支店の次が東京の多摩支店でした。新宿から電車で 30 分ぐらいのところでありまして、ジブリ映画の「耳をすませば」のモデルになるようなところでした。

多摩支店の次が大山支店で板橋区にあります。近くに東京では有名な商店街があるところで池袋から 5、6 分の場所でした。皆さん工場を埼玉や栃木や群馬に移転されていることが多く、結構遠くまで行くことが多かったです。

大山支店の次が六本木支店に行きました。六本木は普通のところとは違ひまして、会社さんもマスコミ、広告関連、テレビ局関連というのがやたら多くなりました。

六本木支店の次が新宿支店で新宿 3 丁目の伊勢丹という百貨店の前にありました。新宿は人だらけで私のような田舎者からすると人で疲れるという感じでした。新宿のお客様はアパレル関連が多かったです。



山本年朗君

新宿支店の次が王子支店で、これは現在の王子製紙の発祥になったところで印刷関連のお客様が多かったです。

王子支店の次が兵庫の神戸支店で、そこで初めて単身赴任で行きました。神戸は色んなお客様がいらっしゃるのですが、海外と取引をされているお客様が多く、貿易等の勉強をさせて頂きました。個人的な感想ですが、最初の大阪の天満支店の時は大阪弁でないと受け入れてもらえないというのがあったのですが、神戸支店の辺りだと普通に話していても受け入れてもらえるということで、同じ関西でも神戸と大阪ではだいぶ違うと感じました。

神戸支店の次が東京の下赤塚支店に配属になりまして、その次が日本橋支店に勤務をさせて頂きました。

日本橋支店の次が現在の碧南支店に着任させて頂きまして、来年の3月で入行25年になります。碧南支店で10場所目になり、約2年半で1場所という感じになるのですが、今回の「私の履歴書」で改めて過去の仕事を振り返りましたが、最後に言わせてもらえば10場所ありますが碧南がやっぱり1番だなと思いました。

どうもありがとうございました。

次回例会案内

平成27年12月9日（水）

卓話「税理士だから経験できた、役に立つかも知れない相続の話」

会員 森田雅也君